

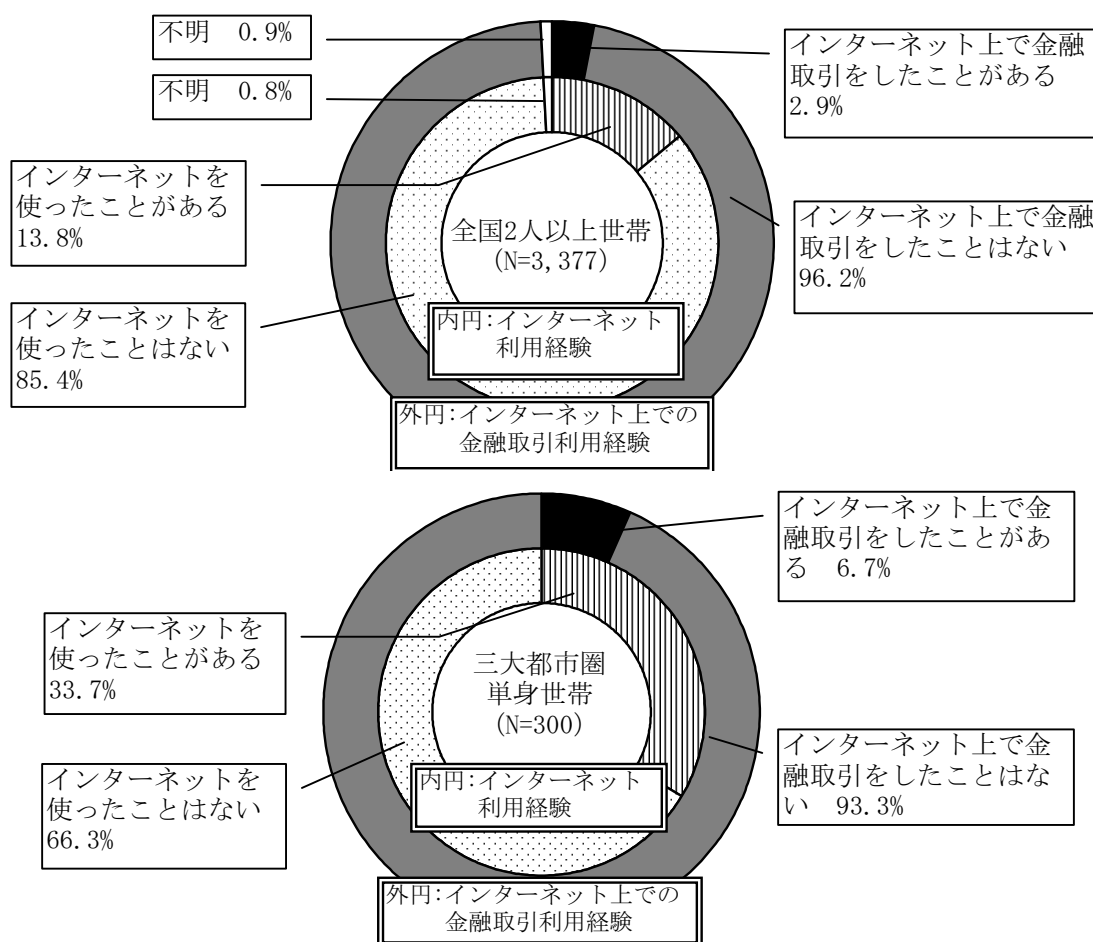
1-9 インターネットを使った金融取引

(1) インターネット上で金融取引経験³の有無（問8-2 複数回答）

「インターネット上での金融取引経験の有無（インターネットバンキング、ネット証券、その他の金融取引のいずれか、或いは2つ以上）」については、全国2人以上世帯では、「インターネット上で金融取引をしたことがある」の回答比率は2.9%に過ぎない。これはインターネット利用経験者の21.2%にあたる。

なお、I-mode等携帯電話の利用を含めて、「インターネットを使ったことがある」の回答比率は13.9%でとなっている（問8-1）。

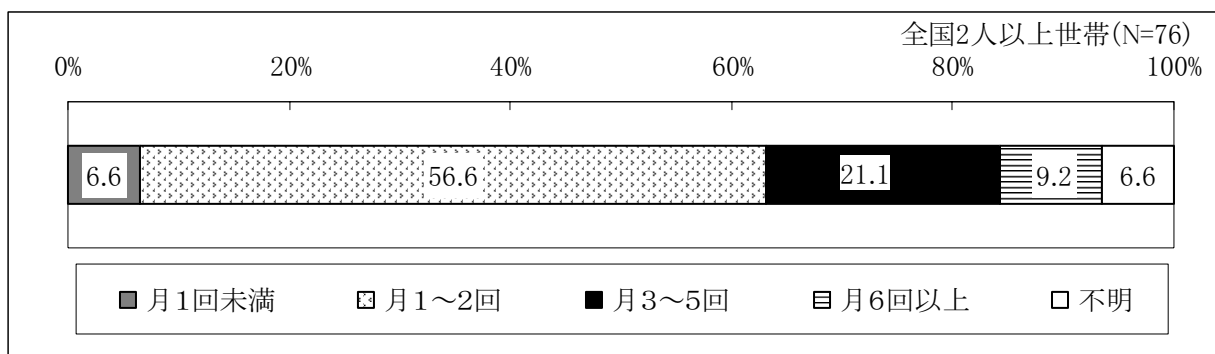
単身世帯は、全国2人以上世帯の調査結果と比較すると、インターネットの利用経験率、インターネット上の金融取引経験率とも、倍以上となっている。単身世帯の経験率が高い理由として、本調査の回答世帯の分布が、インターネット利用経験率が高い世帯主年齢20歳代と30歳代で5割を超える単身世帯に対し、全国2人以上世帯では2割に満たないことが影響していると考えられる。



³ ここでいう「インターネット上で金融取引経験がある」とは、問8-2においてインターネットバンキング、ネット証券、その他の金融取引の1つ或いは2つ以上の経験があると回答した世帯をいう。その内訳は、2人以上世帯計99世帯では、インターネットバンキング76(うち「ネット証券と両方経験した」が13、「その他の取引と両方経験した」が1)、ネット証券31、その他の取引6であった。単身世帯計20世帯では、インターネットバンキング17(うち、「ネット証券と両方経験」が1)、ネット証券4であった。

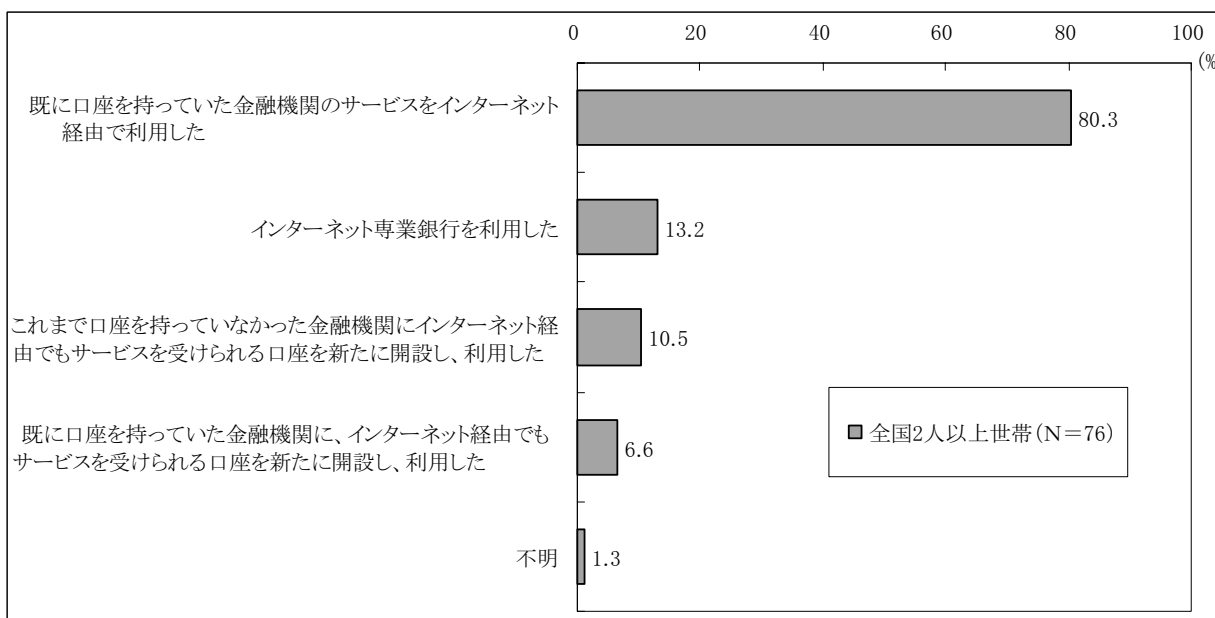
(2) インターネットバンキングの利用頻度 (問8-2)

インターネットバンキングを利用したことがある世帯の利用頻度について、全国2人以上世帯では、「月1～2回」(56.6%)の回答比率が最も高く、以下、「月3～5回」(21.1%)、「月6回以上」(9.2%)、「月1回未満」(6.6%)の順となっている。



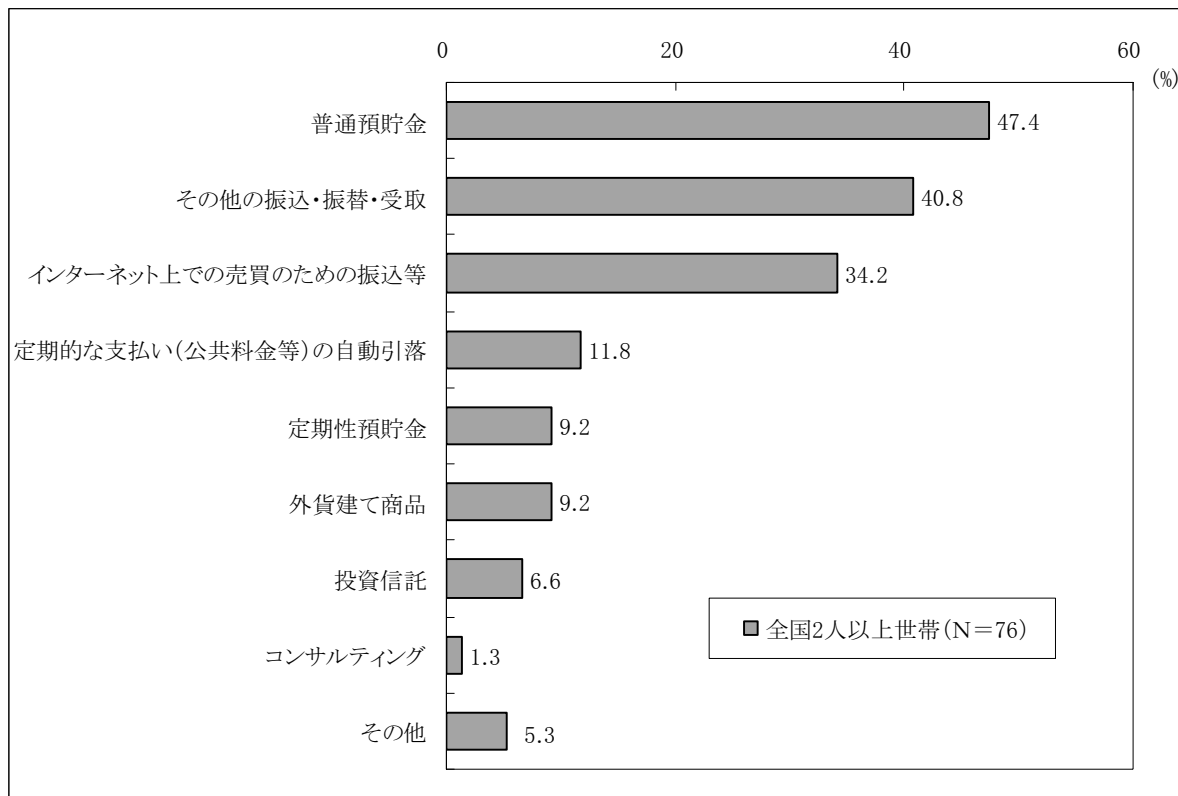
(3) インターネットバンキングの利用内容 (問8-3 複数回答)

インターネットバンキングを利用したことがある世帯の利用内容について、全国2人以上世帯では、「既に口座を持っていた金融機関のサービスをインターネット経由で利用した」(80.3%)の回答比率が最も高い。以下、「インターネット専門銀行を利用した」(13.2%)、「これまで口座を持っていなかった金融機関にインターネット経由でもサービスが受けられる口座を新たに開設し、利用した」(10.5%)、「既に口座を持っていた金融機関に、インターネット経由でもサービスが受けられる口座を新たに開設し、利用した」(6.6%)の順となっている。



(4) インターネットバンキングで利用したサービス (問8-5 複数回答)

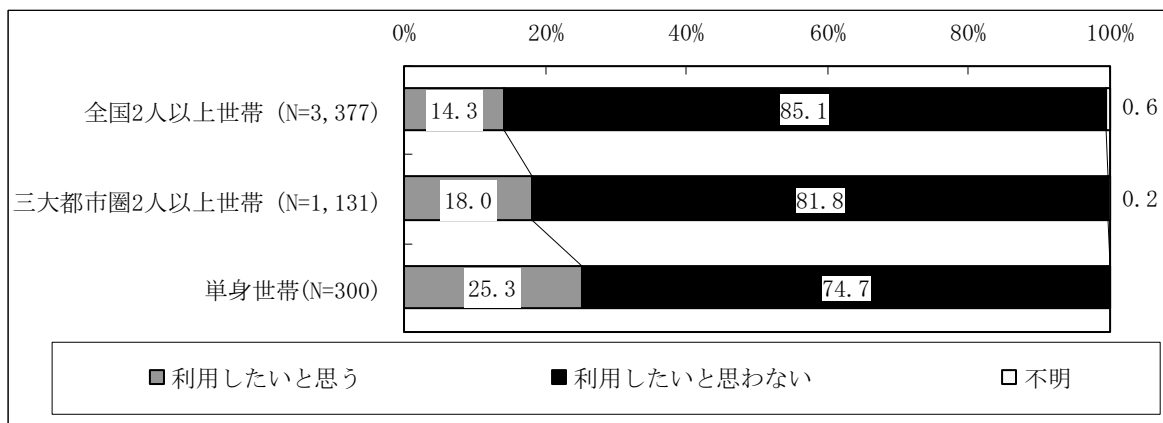
インターネットバンキングを利用したことがある世帯が利用したサービスについて、全国2人以上世帯では、「普通預貯金」(47.4%)の回答比率が最も高く、以下、「その他の振込・振替・受取」(40.8%)、「インターネット上での売買(ネットショッピング、ネットオークション等)のための振込等」(34.2%)、「定期的な支払い(公共料金等)の自動引落」(11.8%)の順となっている。



(5) インターネットバンキングの利用意向 (問8-6)

今後、インターネットバンキングを利用したいと思うかについて、全国2人以上世帯では、「利用したいと思わない」(85.1%)が大多数となっている。

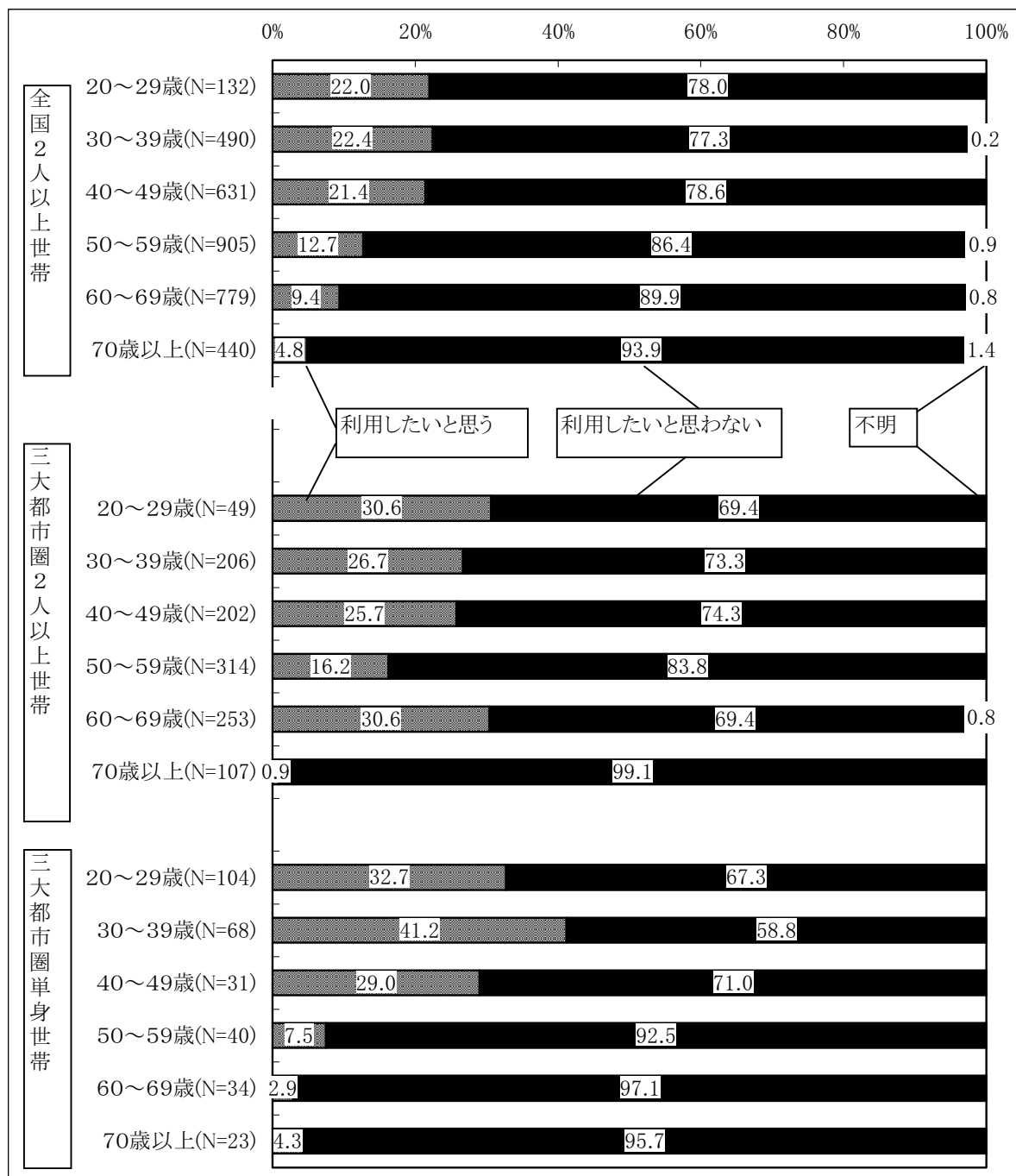
単身世帯では、三大都市圏2人以上世帯の調査結果と比較すると、「利用したいと思う」(25.3%)が7.3ポイント高くなっている。



(6) 世帯主年齢階級別 インターネットバンキング利用意向 (問8-6)

今後、インターネットバンキングを利用したいと思うかについて、世帯主年齢階級別に見てみると、20～40歳代は「利用したいと思う」の回答比率が高く、50歳代以上年代が上がるにつれて低下している。

単身世帯では、三大都市圏2人以上世帯の調査結果と比較して、20～40歳代で「利用したいと思う」の回答比率が高く、50歳代以上では低くなっている。

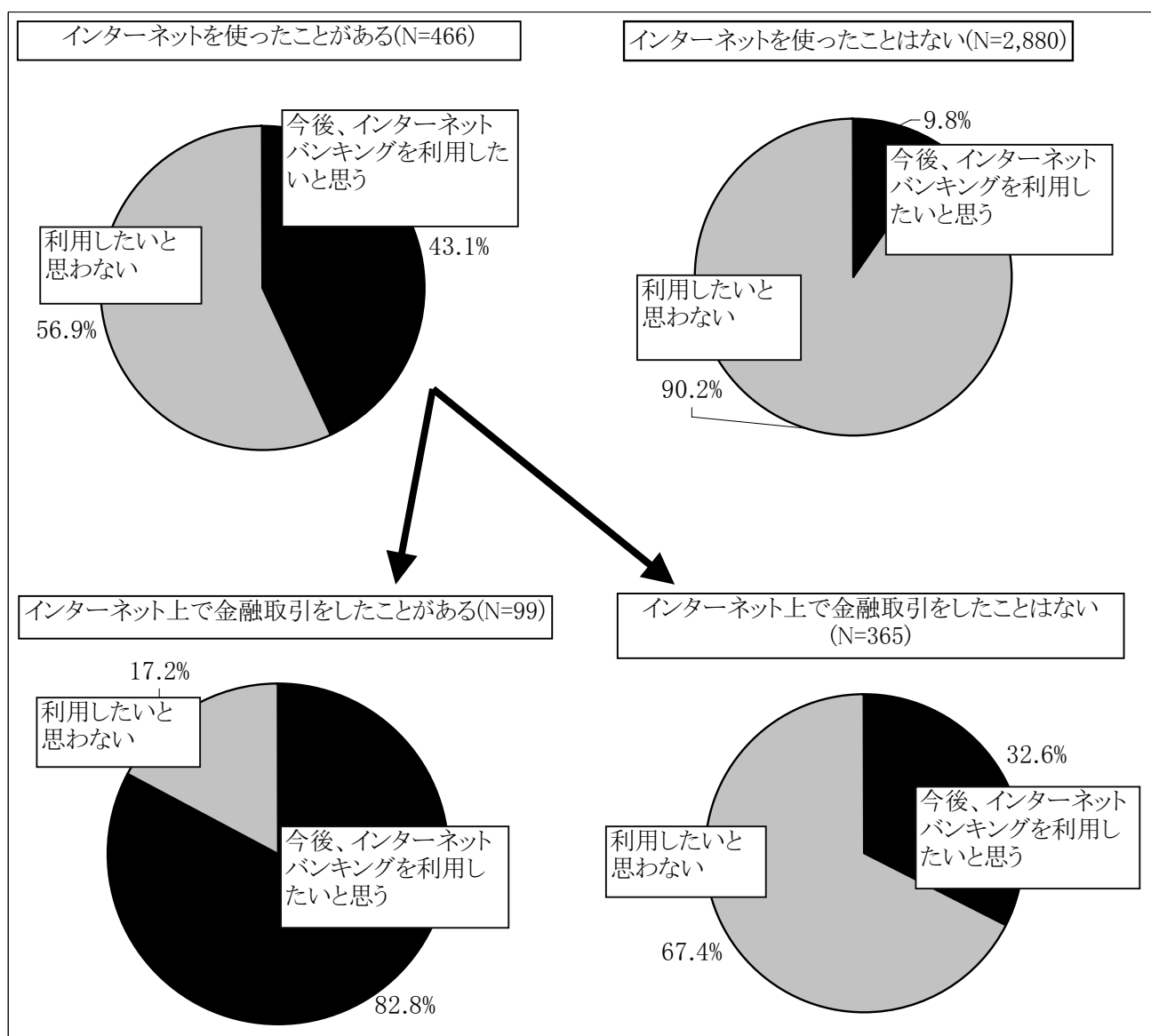


(7) 利用経験別⁴ インターネットバンキング利用意向 (問8-6)

全国2人以上世帯について、利用経験別にインターネットバンキングの利用意向を分析した。

「インターネットを使ったことがある」世帯では43.1%が「今後、インターネットバンキングを利用したい」と答えているのに対し、「インターネットを使ったことがない」世帯では9.8%にとどまった。

また、「インターネットを使ったことがある」世帯のうち、「インターネット上で金融取引をしたことがある」世帯は「利用したい」が82.8%と大部分を占めたが、「(インターネットを利用したことはあるが)インターネット上で金融取引をしたことはない」世帯では「利用したい」は32.6%にとどまった。

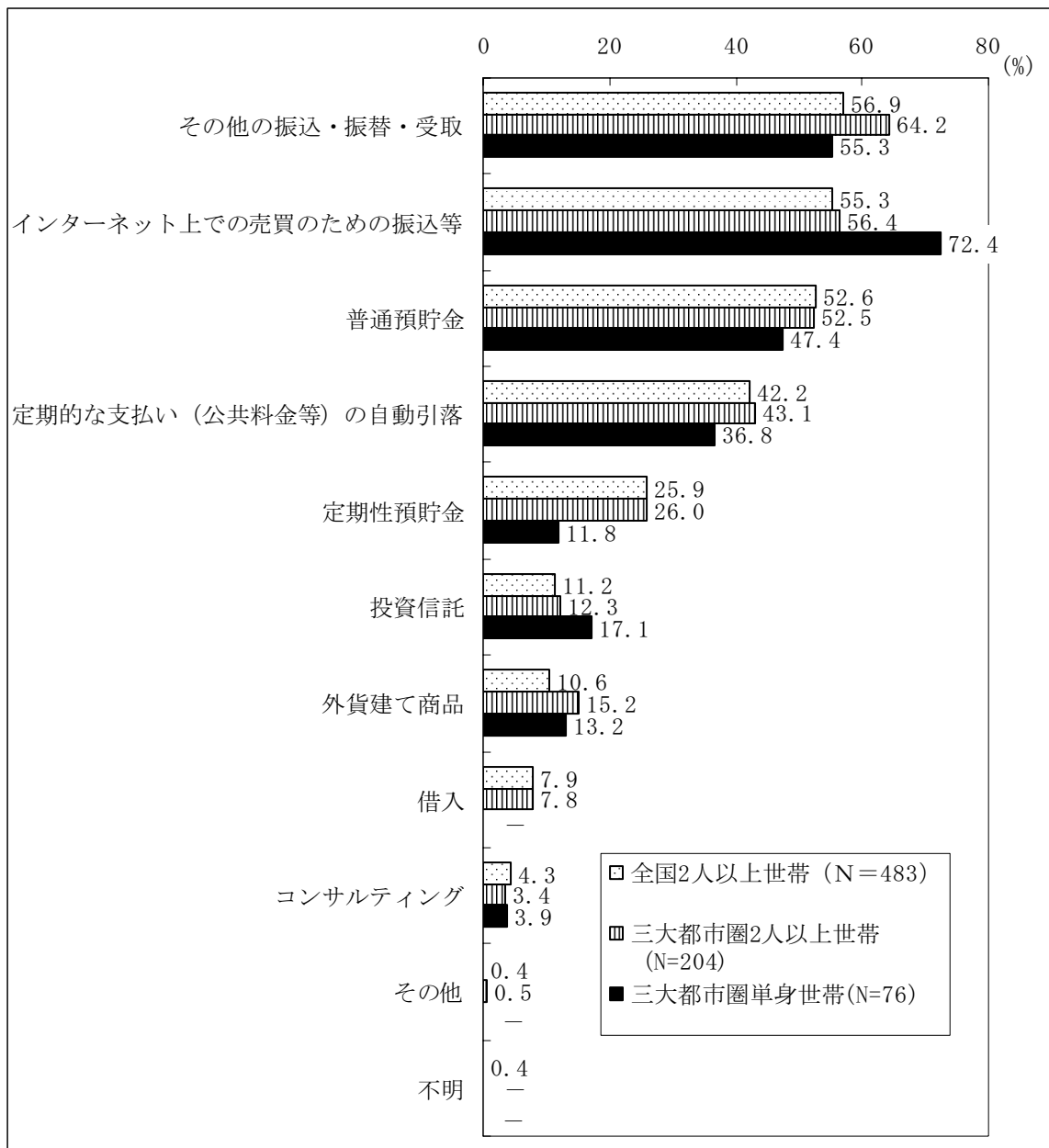


⁴ ここでいう「利用経験」については9-(1)参照。

(8) インターネットバンキングで今後利用したいサービス (問8-7 複数回答)

「今後、インターネットバンキングを利用したいと思う」と回答した世帯が「今後利用したいサービス」について、全国2人以上世帯では、「その他の振込・振替・受取」(56.9%)、「インターネット上での売買(ネットショッピング、ネットオークション等)のための振込等」(55.3%)の回答比率が高く、以下、「普通預貯金」(52.6%)、「定期的な支払い(公共料金等)の自動引落」(42.2%)、「定期性預貯金」(25.9%)の順となっている。

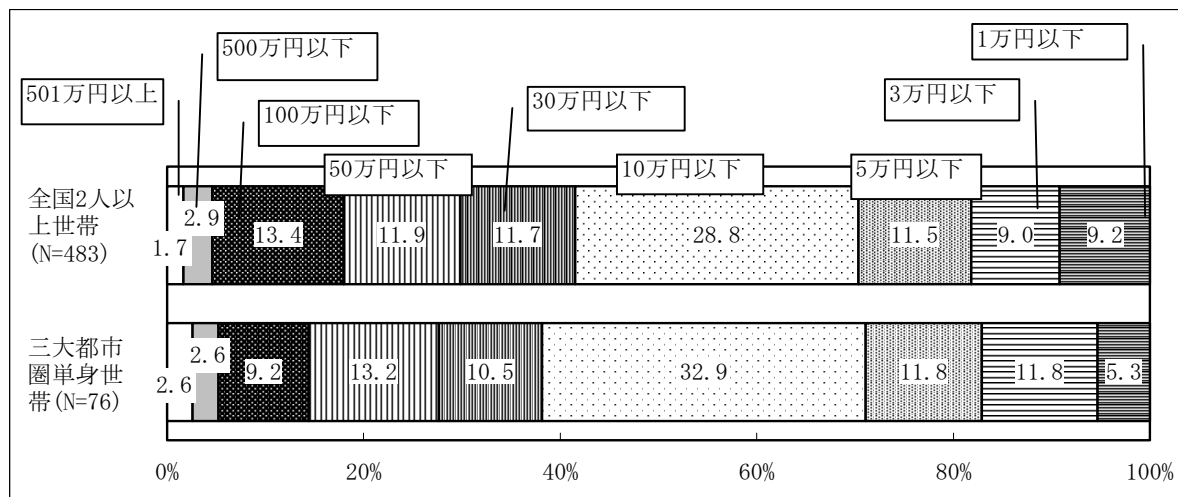
単身世帯では、三大都市圏2人以上世帯の調査結果と比較して、「インターネット上での売買のための振込等」(72.4%)が16ポイント高く、「定期性預貯金」(11.8%)は14.2ポイント低くなっている。



(9) インターネットバンキングの利用上限金額（問8-8）

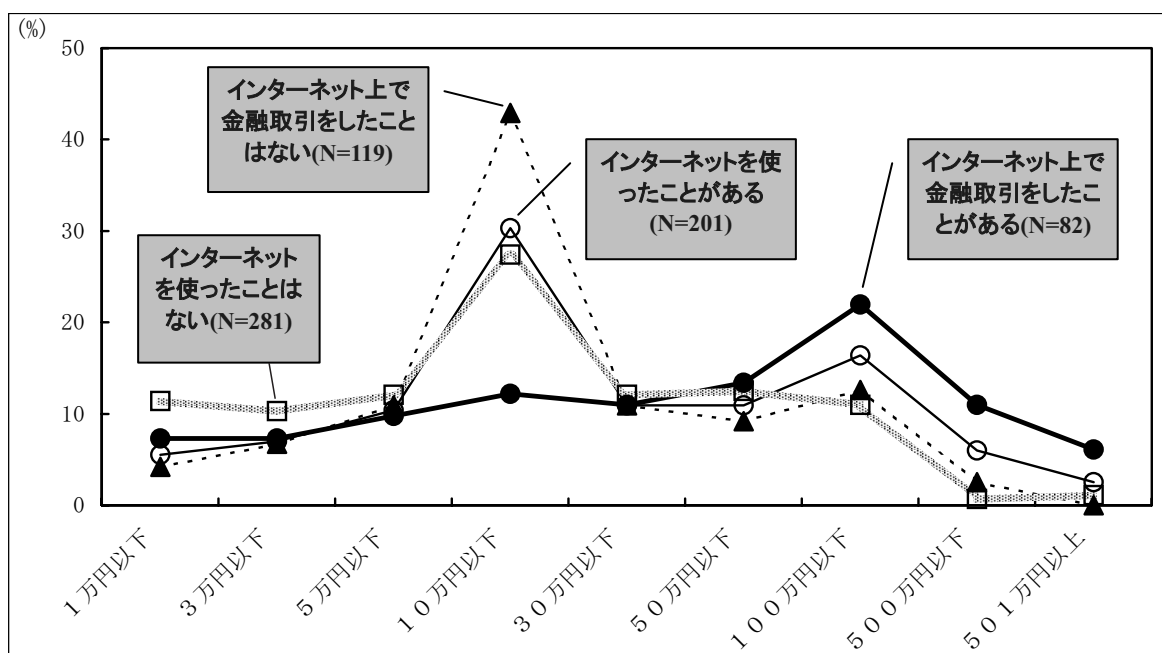
「今後、インターネットバンキングを利用したいと思う」と回答した世帯に、いくらまでなら利用したいと考えるかを聞いたところ、全国2人以上世帯では、「10万円以下」（28.6%）の回答比率が最も高く、以下、「100万円以下」（13.3%）、「50万円以下」（11.8%）、「30万円以下」（11.6%）の順で回答は分散している。

単身世帯では、全国2人以上世帯の調査結果と比較して、大きな違いは見られない。



(10) 利用経験別 インターネットバンキングの利用上限金額（問8-8）

利用経験別にインターネットバンキングの利用上限額を見ると、全国2人以上世帯では、全体では「10万円以下」の回答比率が高いが、「インターネット上で金融取引をしたことがある」世帯では「100万円以下」の回答比率が一番高くなっている。

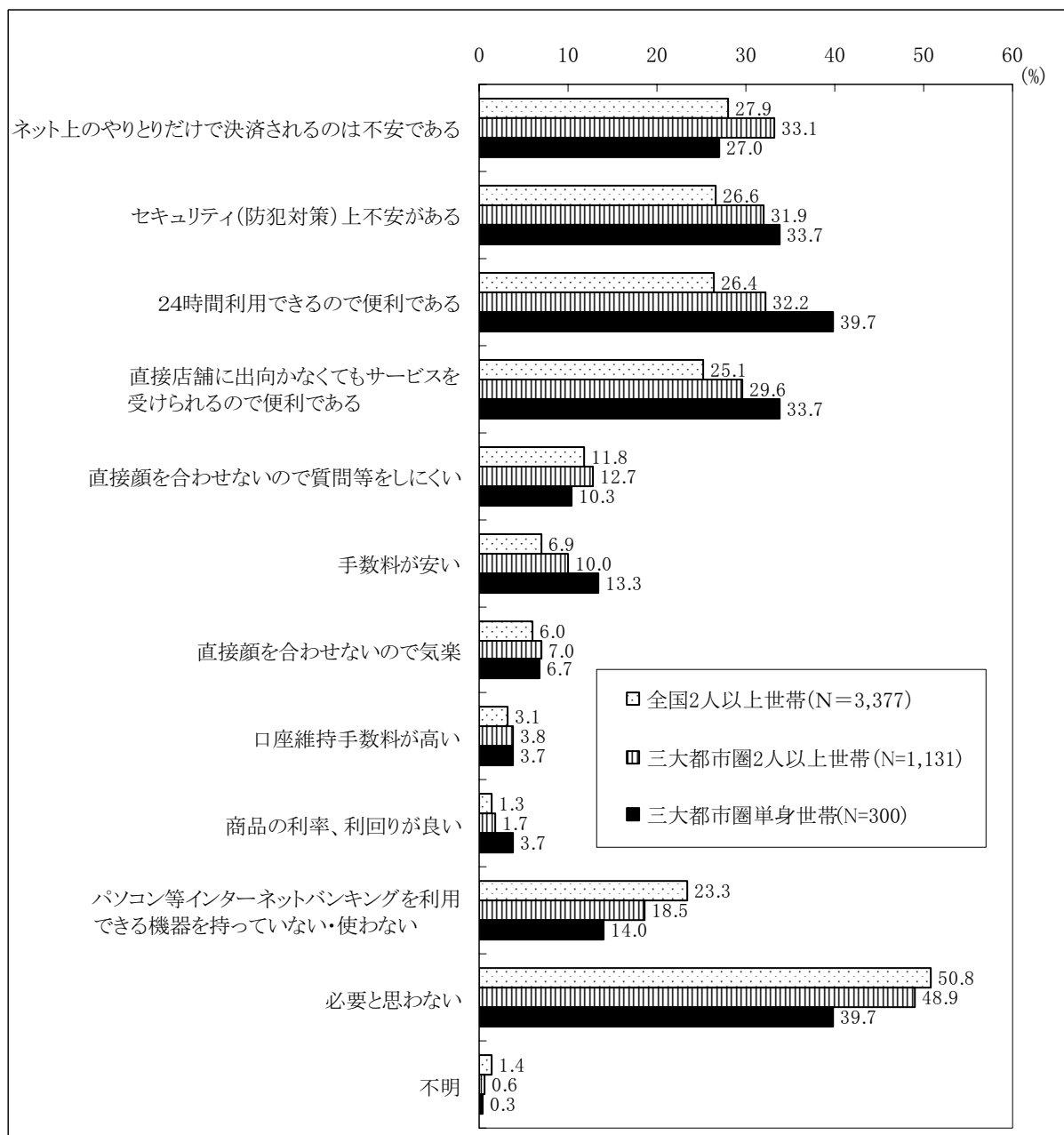


(全国2人以上世帯)

(11) インターネットバンキングへの考え方 (問8-9 複数回答)

インターネットバンキングについてどのように考えるかについて、全国2人以上世帯では、「ネット上のやりとりだけで決済されるのは不安である」(27.9%)、「セキュリティ(防犯対策)上不安がある」(26.6%)といったマイナスの評価と、「24時間利用できるのもので便利である」(26.4%)、「直接店舗に出向かなくてもサービスを受けられるので便利である」(25.1%)といった利便性に対するプラスの評価が同じくらいの比率となっている。また「必要と思わない」が50.8%となっている。

単身世帯では、三大都市圏2人以上世帯と比較して、「24時間利用できる」(39.7%)は7.5ポイント、「直接店舗に出向かなくてよい」(33.7%)は4.1ポイント高く、「必要と思わない」は9.2ポイント、「インターネットバンキングを利用できる機器を持っていない、あるいは使わない」はそれぞれ4.5ポイント少なくなっている。



(12) 利用経験別 インターネットバンキングへの考え方（問8-9 複数回答）

利用経験別にインターネットバンキングへの考え方を見ると、「インターネットを使ったことがある」世帯は「24時間利用できるので便利」、「店舗に出向かなくてもサービスが受けられ便利」、「手数料が安い」といった利便性に対するプラスの評価が高い一方、「セキュリティ上不安がある」、「ネット上のやりとりだけの決済は不安である」といったマイナスの評価も同様に現れている。

「インターネットを使ったことがない」世帯はそれらのいずれも回答比率が低く、「必要と思わない」「機器を持っていないあるいは使わない」が高くなっている。

「インターネットを使ったことがある」世帯のうち、「インターネット上で金融取引をしたことがある」世帯では、「24時間利用できるので便利である」、「店舗に出向かなくてもサービスが受けられ便利」、「手数料が安い」といった利便性を8割近くが評価しており、「セキュリティ上不安がある」といったマイナスの評価も、「インターネット上で金融取引をしたことがない」世帯より低くなっている。

